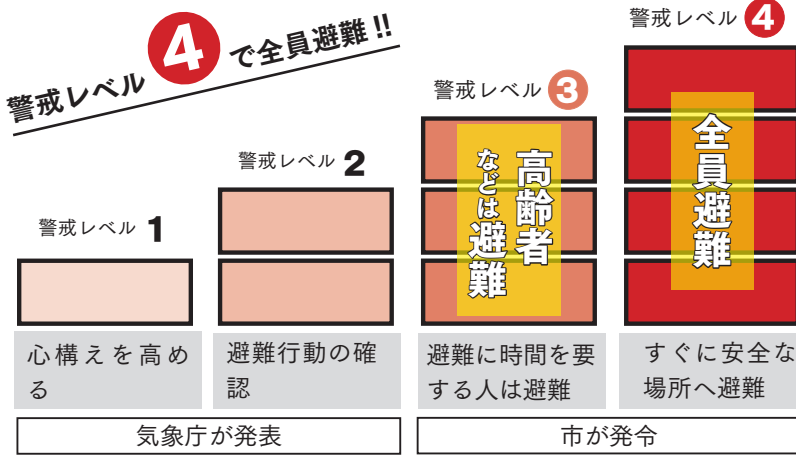


Pick Up!

逃げ遅れゼロへ！

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が
変わります 問 危機管理課 ☎(22)2111(286)



警戒レベル3以上発令時は「防災行政無線」、「中野市すぐメール」などで「警戒レベル」と「取るべき行動」などを伝えますので、速やかに避難を開始してください。

「中野市すぐメール」にまだ登録していない人は、ぜひご登録ください。また、万一の際に慌てずに行動できるよう、下記のページをブックマークして災害情報を把握しましょう。



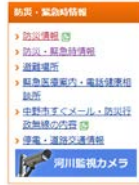
(スマホ版)



(ガラケー版)



▲中野市すぐメール



▲市公式HP防災・緊急時情報

また「暮らしと防災ガイドブック」、「市HP」で洪水・土砂災害ハザードマップや避難所を確認しておきましょう。

人口の動き

面積：112.18km²
 人口：42,529人 (－15)
 男：20,598人 (+4)
 女：21,931人 (－19)
 世帯数：15,707戸 (+37)
【2019年5月1日現在】
 () は前月比。
 2015年国勢調査を基に推計。



中野市議会



今月の表紙

センチッド・ジュエルという食用バラを使った料理たち。バラの花を丸ごと揚げた天ぷら、バラシロップ、バラのロールケーキ、バラソーダ、バラのサラダが入ったピタパン。今回の特集では、それぞれの料理に赤や紫、ピンクなどの色どりを持たせてくれる食用バラに注目しました。



ページ

03 キラリ★中野のチカラ

特集

04 魅せる。香る。
食べられるバラ

08 職員採用試験

09 信州なかの日和 / 市長のわくわくレポート

10 財政状況

11 プレミアム付商品券事業のご紹介 / 小学校統合準備委員会だより

12 生き生き！健康メモ / 保健だより

13 市民リレー元気の輪 / 行ってみよう！やってみよう！シニア情報

14 子育て案内

15 子育て支援センター行事予定 / わが家のアイドル

16 まちかどトピックス

18 暮らしの情報掲示板

24 交差点

26 文化なかの

30 図書館情報

31 博物館だより

32 夢 / 広報クイズ

-Profile-

あべ すみお



中野市出身、在住。広告デザインやキャッチコピーに興味を持ち、大学に通いながら夜間のデザイン学校で学ぶ。

東京での出版社勤務を経て、1992年、中野市に帰郷。北信タイムスに勤務した後、2015年に「デザインハウス・プランクリエ」を設立。デザイナー、フォトグラファーとして活躍する一方、(一社)一本木公園バラの会の事務局長を務める。2008年に「中野市の花・木・鳥」(上図のイラストなど)のデザインを手掛けた。

150人の会員・職員とともに一本木公園を管理し、中野市を代表するイベント「信州なかのバラまつり」を支えている。



令和元年 —。きれいはコレ☆カラ
Collection of Colors



▲「ヨハン・シュトラウス」
(プランクリエ作成のポストカード)



▲ 2018 信州なかのバラまつりの光景
(阿部さん撮影)

(一社)一本木公園バラの会

事務局長

阿部 澄夫 (長嶺)

「一訪れた人から『中野市は特別なバラ生産地でもないのに、バラが有名になったのはなぜですか』とよく聞かれます。公園にオーナー花壇が創設され、バラまつりでの苗の普及や育て方講習などを通じて、バラが親しまれ『バラのまち』として開花したのだと思います。原点を創り上げたのは黒岩先生ですが、それを絶やさず受け継ぐ心が、私たち市民にあったのでしようね」

これまでバラまつりのポスターなども数多く手掛け、デザイナーとしての顔も持つ阿部さんは、公園のPRについて独自のアプローチを試みている。

「一昨年から県のミュージアムネットワークに参加しています。そこで全県の学芸員さんたちと交流が生まれ、この秋開催する展覧会「シンビズム3」の会場に一本木公園展示館と信州中野銅石版画ミュージアムが選ばれました」。バラや季節ごと楽しめる花々に加え、アート企画でも、公園の魅力が発信できればと話す。

「菊池一雄さんの彫刻や旧校舎など、公園が持つ文化芸術の潜在能力は宝。『令和元年、きれいはコレ☆カラ』です」と公園の魅力を語るとともにキャッチコピーを披露した。

「一本木公園を起点に市街地、沿道、各家庭にバラがいつぱい広がるまち、信州なかの——。(故)黒岩喜久雄先生の寄贈から始まった一本木公園の色とりどりのバラは、まさに市民の誇りだ。その公園の指定管理者として長く管理を担ってきた「一本木公園バラの会」の事務局長、阿部澄夫さんに話を聞いた。

※シンビズム展…長野県文化振興事業団・長野県主催、県内の学芸員共同企画による展覧会。2018年開催の「シンビズム2」では高木こずえさん(中野市出身)を含む20人のアーティスト作品を県内4会場で展示し、話題を呼んだ。